



明けまして おめでとうございます

- 子どもが自立するために -

校長 藤 森 克 彦

令和2年新春、皆様おだやかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。年末恒例の今年の漢字（日本漢字能力検定協会）は「令」が選ばれました。もともと「令」という漢字には、素晴らしい、良い、立派なという意味があり、改めて子どもたち一人一人にとって幸せで充実した良い年であってほしいと願うばかりです。

今年は曜日の並びから例年に比べ正月休みが長かったようですが、我が家は何をすることもなくただらだと家族で過ごしているだけで、こんなんびりしていいのかなと思うこともしばしばありました。一家団欒と呼べるほど和やかではないにしても、とりたてて不幸でもないありきたりな家族の光景だったかもしれません。でも、もしかしたらいつかずっと先になって、それが取り戻しようもない大事な時間であったことに気づく日がくるのではないか。家族の上に流れている時間のはかなさ、うつろいやすさ、その時間の大切さや貴重さをしみじみ実感する時がいつかあるのかもしれない。そんな風に感じたのも、自分が齢をとったせいなのかもしれません。

さて、この時期は、孫を連れのおじいちゃんおばあちゃんの姿をよく目にしますが、そういう場面を見るとある絵本を思い出します。それは「だいじょうぶ だいじょうぶ」（いとうひろし作・絵 講談社）です。主人公のぼくは、幼い頃毎日おじいちゃんと散歩をします。おじいちゃんとの散歩は、家の近くを歩くだけのものですが、幼い子どもにとっては海や山を冒険するような楽しさにあふれています。草、木、石、空などに対しても友達のように声をかけるおじいちゃんと一緒に歩いていると、ぼくの周りの世界がどんどん広がっていきます。新しい発見や出会いが増えると、その分怖いことや困ったことにも出会います。時には友達にぶたれたりいやな顔をされたりすることもあります。犬にほえられたり車にぶつかりそうになったり、心配なことも増えていきます。しかし、そのたびにおじいちゃんは、おまじないのように「だいじょうぶ だいじょうぶ」とつぶやくのです。「だいじょうぶ だいじょうぶ」といながら、世の中にはよいことがたくさんあることを教えます。このような体験をしてぼくは大人になっていきます。

この絵本から学ぶことは、大人の何気ない言動が子どもの自立心も育むし、逆に奪うこともあるということ。子どもをよい方向へ導こうとする気持ちが強くなりすぎると、子どもに失敗をさせたくないという気持ちも増してきます。すると、つい先回りをして子どもの言動に抑制をかけるようになります。それが積み重なっていけば、子どもは自分で考え行動することができなくなっていきます。高学年ぐらい（思春期）になれば、子どもは様々な壁を意識するようになります。そのときに、自分で考えたり工夫したりできないと必要以上のストレスを抱えることになるかもしれません。良かれと思って大人が先回りをして行っていることが、実は子どもの成長にマイナスに働いていたということはあることです。

子どもには自分で考えさせ、子どもなりに考えたこと創造したことを大事にしてあげること。そして何よりも「だいじょうぶ だいじょうぶ」の気持ちで子どもの行動を我慢強く見守り支えてあげること。（当然、なんでもかんでもということではありませんが）変化の激しい社会だからこそ、我々大人が意識していきたいことです。本年もよろしく願いいたします。

## 4年 大森貝塚発表会

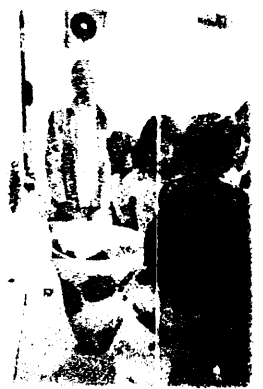
4年担任 中村 香織

大井第一小学校の学区には、「大森貝塚」という有名な遺跡があります。毎年4年生が大森貝塚について学習をしています。今年も大森貝塚保存会会長である関俊彦先生の講義をスタートに、縄文時代の生活やモース博士のことについて教えていただきました。実際に黒曜石や矢じり、土器などを見ることができて、子どもたちは興味津々でした。フィールド学習では、大森貝塚遺跡庭園や品川歴史館、大森貝塚の碑などを見学しました。



発表会に向け、「縄文時代の食生活」「土偶」「縄文土器」「縄文時代に使っていた道具」「縄文人について」等、自分たちで調べたいテーマを決め、様々な文献やインターネットの情報から発表資料を集めグループごとに調べ学習を重ね、深めてきました。

12月12日(木)、大森貝塚の発表会を行いました。調べたことだけでなく、自分の考えをしっかりと発表することができました。発表後、子どもたちは「大森貝塚を調べることで、自分の中にある不思議に出会うことができた」「発表する時にチームワークが大切だということが分かった」「発表の仕方や聞き方を学び、これからいかしていきたいと思う」「大森貝塚の学習を通して3年生やたくさんの人と交流ができた」と感想を言っていました。終了後、関先生より、「よく調べてきました。一人ではできない、チームを組んで助けあったからできたのです。また、一つのものをよく見ることが大事です」と子どもたちへ大切な示唆をいただきました。この学習を通し、4年生は大きな達成感と自信をもつことができました。



## 2年 「町たんけん」発表会

2年担任 清原 睦美

12月号で、生活科で町の公共施設を中心に取材活動を行っていることをお知らせしました。

12月7日(土)は、その発表会を行いました。当日は、2年生同士で発表を聞き合うことはもちろん、1年生と保護者の方にも聞いていただきました。中には、取材をさせていただいた施設の方々も来てくださり、大盛況となりました。模造紙いっぱいに分かったことや考えたことをまとめ、5分間では足りないグループがあるほど、たくさんの方を発表することができました。取材先の方に「こんな風に自分たちの仕事を紹介してくれて嬉しい。ぜひ、職場の他に人たちにも見せたい」と、ほめていただき、頑張った2年生たちは、達成感いっぱいでした。



## 書き初め展について

国語部 片岡 菜月

年の初めにあたり、日本の伝統的な正月行事である書き初めをすることを通して、新たな気持ちをもたせます。どの学年も、新しい年の願いを込めてのびのびと正しい字を書くことを目標に書き初めに取り組んでいます。1、2年生は、かきかた鉛筆で、3～6年生は太筆を使って書きます。暮れからお正月にかけて練習してきた成果を、大きな文字に表してもらいたいと思います。なお、審査により各学年2点が区展に出品されます。また、今年度は2年生の作品の中から1点が都展に出品されます。

今年度の書き初め展は、1月18日(土)～24日(金)に実施します。各学級の廊下に展示しておりますので、ぜひご覧ください。



## フレンドまつり

市民科部 井上 勉



12月20日(金)に「フレンドまつり」が行われました。フレンドまつりの各クラスのゲームは、6年生の代表班長を中心に5、6年生が準備を進めてきました。ゲームの内容やルールなど、下級生が楽しめるように話を重ねました。様々な場面を想定し、シミュレーションしていく中で、より良いものになるようどのクラスも自分たちならではの工夫があり、「素晴らしい」と感心するゲームばかりでした。当日は、下級生に優しく接する姿、自分の担当を一生懸命頑張る姿など、上級生としての姿がたくさ

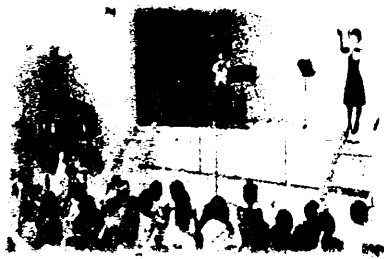
ん見られました。1～4年生はお客さんとして、夢中になって遊びました。「楽しかった」「またやってほしい」など、楽しかった様子が伝わります。また、4年生が下級生をまとめてゲームをまわる姿に頼もしさを感じました。このフレンドまつりは、上級生の頑張りや優しさを感じ、その姿を見て、下級生は楽しさだけでなく、多くのことを学ぶ場でもあります。子どもたちの充実感、満足感、達成感でいっぱいの笑顔溢れるすてきな時間となりました。

## 音楽鑑賞授業

音楽講師 廣瀬 めぐみ

12月18日(水)に、1、2年生の「音楽鑑賞授業」を実施しました。ヴァイオリン2台とピアノで演奏会を行いました。ただ音を聞くだけでなく、演奏家同士が演奏中にどうやってコミュニケーションをとるかを見て聞いて学びました。①演奏者の目線、②演奏者の体の動き、③演奏者に呼吸に注目して聞きました。

また、音楽の表現の一つである *f* (フォルテ)、*p* (ピアノ) といった音の大きさの違いを知り、実際に「ラデツキー行進曲」では指揮者の出す合図に合わせフォルテとピアノを意識した手拍子をすることができました。「そりすべり」では学校にある鈴と違う、初めて見る大きい鈴に驚いていました。最後はクリスマスの曲やみんなの良く知っている校歌を歌いました。少し早いクリスマスプレゼントの演奏会を子どもたちは楽しんでいました。



## 5年 社会科見学

5年担任 高橋 直之

12月12日、5年生は社会科見学へ行きました。今年度は、ロッテ浦和工場と造幣局さいたま支局を見学しました。ロッテの工場では、製品や商品が出荷されるまでに人とロボットが分業されている様子や、造幣局ではお金をデザインする職人の技を垣間見ることができました。普段見ることのできない場所を見学することができ、子どもたちは真剣にメモを取って学んでいました。安全で効率よく生産をすること、やはり最後は人の力が必要であることなどを新聞の形にまとめることができました。これからのものづくりの大切にしなければならないことを学ぶよい機会となりました。



年間重点生活目標「正しい姿勢を意識して生活しましょう！」

今月の生活目標

生活のめあて	最後まで聞く
保健のめあて	うがいと手洗いをしよう
給食のめあて	バランスよく食べましょう

## 行事予定

日付	曜日	主な行事	日付	曜日	主な行事
1	水	資源回収 1月10日 エコキャップ回収 1月22日 校庭解放 1月19日26日	17	金	計測(4年) ネパールたまごプロジェクト授業(4年国際委員会) 委員会活動
2	木		18	土	安全指導 市民科地区公開講座 校内書初め展(始)
3	金		19	日	PTA役員会・実行委員会
4	土		20	月	全校朝会 計測(3年)
5	日		21	火	計測(2年) 租税教室(6年) [東京グローバルウェイ英語村]学習(4年)
6	月		22	水	午前授業 計測(1年)
7	火		23	木	
8	水	始業式 給食始 大掃除	24	金	児童集会 クラブ 校内書初め展(終)
9	木		25	土	
10	金	保護者会(4・5・6年)	26	日	
11	土		27	月	全校朝会
12	日		28	火	
13	月	成人の日	29	水	自転車安全教室(2年)
14	火	計測(6年) 保護者会(1・2・3年)	30	木	昔あそび(1年)
15	水	午前授業 計測(5年)	31	金	クラブ
16	木	避難訓練 起震車体験(4年)			

## 生活指導部より

生活指導部 川口 祐一

冬休み中、子どもたちは楽しみにしていたお年玉を頂いて、普段よりも高額なお金を持っていることと思います。先日、我が家でもお年玉で気が大きくなった息子が必要のない物を欲しがり、親からすると「無駄遣いじゃないの」と、思う場面がありました。親として、我が子が上手にお金を遣えるようになって欲しいと願うのは皆同じだと思います。

お金は、「感謝の対価」「感謝のしるし」と言われます。お金は大事なものであることを事あるごとに生活の中で伝えていきましょう。また、お金の使い方には、四つの使い方があるそうです。貯金「ためる」、購入「使う」、寄付「ゆずる」、投資「ふやす」です。

子どもが自分で考えてお金を使うことは、生きる力を育むトレーニングになります。全部使い切ってしまうような失敗することもあるかもしれませんが、しかし、その失敗の中で使い方を間違えると困るのは自分だ、ということ子ども自身が気付けるようにもなります。子どもとのコミュニケーションを大切にしながら、金銭感覚を育てていきたいものです。

## リレーコラム「かかわる、創る」

5年担任 清水 沙織

11月16日(土)、展覧会の一環として、5年生は「仮面パフォーマンス」と「造形フェス」を行いました。「仮面パフォーマンス」では、展覧会に展示した仮面型の立体作品「化ける」を身に付け、校庭をパレードしました。初の試みとなった「造形フェス」は、作ることや描くことをテーマとしたお店を出すという取り組みでした。同じような活動をしたい人たちがグループを作り、計画を立て、道具や材料を集めました。準備期間が短い中でしたが、みんなで相談してお店の名前を考えたり、役割を分担したり、小道具を作ったりと、協力してお店を作り上げることができました。そして、当日は、1年生、2年生、未就学の弟さん・妹さんたちがたくさん来て、校庭にならんだお店のお客さんとなってくれました。小さい子たちに喜んでもらえ、5年生の嬉しさもひとしおでした。今後も、相手に喜んでもらうとともに、自らも有用感を感じる自他共に喜び合う活動を積み重ねていきたいと考えています。